

1 事業概要

		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	301
		会計	一般会計		
事務事業名		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画				
法令・例規等		文化財保護法・長野県文化財保護条例			
		飯田市文化財保護条例・飯田市文化財保護事業補助金交付要綱			
		文化財関連施設の設置条例			
事業目的	対象	指定文化財、文化財関連施設、地域資産（地域にある自然・文化・歴史）、遠山の霜月祭（上村・南信濃）			
	意図	指定文化財及び文化財関連施設の適切な保存・維持管理、地域資産の価値の顕在化及び文化財指定、遠山の霜月祭の技術の継承・向上と後継者の育成への補助			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・飯田市考古資料館、旧座光寺麻績学校校舎等の文化財関連施設の維持管理を実施しました。 ・「遠山川の埋没林と埋没樹」を飯田市天然記念物に指定しました。また、市史跡「座光寺の石川除」について、上位指定（県史跡）に向け取組みを進めた結果、長野県教育委員会から県文化財保護審議会に諮問されました。 ・所有者による市指定文化財「白山社隨身門」の修理事業、市史跡「座光寺の石川除」の環境整備事業に対し、文化財補助金を交付し保存継承活動を支援しました。 ・「遠山の霜月祭」について、文化財補助金を交付し、祭りの後継者育成・保存伝承活動を支援しました。		報酬・賃金・報償費・旅費	4,537							
			施設等保守・維持関係費用	8,490							
			施設改修工事費	740							
			負担金及び交付金	423							
			文化財保護事業補助金	2,716							
			その他の経費	0							
			活動指標		指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
					旧小笠原家書院・小笠原資料館入館者数	人	1,510	1,430			
					飯田市考古資料館入館者数	人	685	650			
			文化財施設、指定文化財等の情報発信	回	74	67					
		文化財審議委員会の開催	回	3	3						
		遠山霜月祭保存団体への支援	千円	560	560						
29年度 決算 (千円)	予算額		18,974	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		16,906	(そ) 考古資料館観覧料 59千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 財産収入 2千円							
		県支出金	0	(そ) 諸収入 162千円							
		地方債	0								
		その他	223								
一般財源		16,683									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	1	16,254	14,190	文化財管理事業費
2	1	10	5	3	10	3	2,720	2,716	文化財保護事業補助金
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・文化財関連施設については、公共施設マネジメントの取組みで、今後の在り方について方針決定する必要があります。 ・文化財指定にあたっては、候補物件に関する調査や評価に際し、高い専門性が必要となります。 ・指定文化財に関し、修理や環境整備、説明板の改修等の相談が増えています。所有者や管理者と調整を図りつつ、文化財の保存継承に向けた補助事業、情報発信等の取組みを更に進めることが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・公共施設マネジメントの対象施設については、方針決定をした上で地域と十分に協議します。 ・指定候補物件の調査にあたっては、美術博物館や文化財審議会委員と連携して取組み、その価値を明らかにします。 ・指定文化財の現状と課題を十分に把握し、所有者等の理解と協力を得て文化財の保存継承に繋がる取組みを進めます。							
次年度に向けての取り組み		・北田遺跡公園、飯田市考古資料館の今後の在り方について、行革本部会議での検討を踏まえ、地域との協議を進めます。 ・文化財指定については、美術博物館等と連携して遠山谷の歴史文化資産や自然資産を中心に検討を進めると共に、説明板の設置や改修、HP等を活用した情報発信を進め、指定文化財の公開活用を図ります。							